

2023年12月6日

武内プレス工業株式会社

日本海ガス株式会社

武内プレス工業 滑川本江工場にて再生可能エネルギー導入開始
～ アルミ容器製造拠点におけるカーボンニュートラル推進 ～


武内プレス工業株式会社(本社:富山県富山市、代表取締役社長:武内 繁和、以下「武内プレス工業」と)と日本海ガス絆ホールディングスグループの日本海ガス株式会社(本社:富山県富山市、代表取締役社長:土屋 誠、以下「日本海ガス」)は、PPAモデル(第三者所有モデル)に関する契約を締結し、国内最大のアルミチューブおよびアルミアゾール缶製造拠点である滑川本江工場において太陽光発電システムの運用を開始しましたことを下記のとおりお知らせいたします。

武内プレス工業は再生可能エネルギー電力を工場内で自家消費することで、製造におけるCO₂排出量を削減します。日本海ガスは工場敷地内に太陽光発電システムを設置し、発電した電力を武内プレス工業へ供給します。今回導入した太陽光発電システムにより、年間約300tのCO₂排出量削減に繋がります。

武内プレス工業、日本海ガスは、今後も低・脱炭素化の推進とエネルギーの地産地消への取り組みを通じ、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

記

導入設備概要:

| | |
|------|---|
| 設置機器 | 自家消費型太陽光発電システム 608.39kW (パネル1,466枚) 遠隔監視・計測システム |
| 運用開始 | 2023年11月1日 |
| 設置場所 | 武内プレス工業株式会社 滑川本江工場 富山県滑川市本江389 |
| 導入効果 | <ul style="list-style-type: none"> ① カーボンニュートラル実現に向けた取り組み ② 再生可能エネルギーの地産地消(自家消費モデル) ③ 改正省エネルギー法への対応(非化石エネルギーへの転換)  |



自家消費型太陽光発電システム



滑川本江工場 第3工場 航空写真

■PPAモデル(第三者所有モデル):

電力使用者(武内プレス工業)が敷地や屋根などのスペースを提供し、太陽光発電設備の所有・管理を行うPPA事業者(日本海ガス)が発電システムを設置して、そこで発電された電力を電力使用者へ供給する契約形態です。電力使用者は、初期費用の負担なく再生可能エネルギー発電設備を導入することが可能となります。

■本件に関する問い合わせ

日本海ガス株式会社
エネルギー営業部 伊東、常川
TEL:076-431-1400

日本海ガス絆ホールディングス株式会社
人事広報部 CSR 推進グループ 堀井
TEL:076-443-1812

武内プレス工業株式会社
製造本部 滑川本江工場 管理課 若杉
TEL:076-474-1688